

ウチナー(沖縄)ブランドを世界へ

JAPANブランド・3商工会に交付決定

平成20年度「JAPANブランド育成支援事業」に、県内から3商工会の事業計画が交付決定を認められた。

この事業は、地域が一丸となって、地域の伝統的な技術や素材などの資源を活かした製品等の価値・魅力を高め、「日本」を表現、世界に通用する「JAPANブランド」を実現していこうとする取組みを総合的に支援するもの。3商工会の主な事業内容は、下記のとおり。

H20年度 採択3商工会（東村、金武町、西原町）

(1) 東村 ブランド確立支援事業（1年目）10,500千円

やんばるの東ブランド構造および拡張プロジェクト

2008年度中に商品流通およびプロモーション活動を全国にて展開することで、ブランドの核となる「東村=パインアップルのふるさと」を市場に浸透させる。また海外市場においての好感度調査を実施し、次年度以降の事業の土台を構築する。2009年度以降はブランド配信を継続し、認知度の拡大を図るとともに、県外市場に商品を定着させる。と同時に、海外（香港）へ商品を供給する。最終的には沖縄と直行便で結ばれている「台湾、韓国、上海」といった市場参入も実現する。2014年までには、加工時の熱処理過程で減少するパイン酵素維持を研究開発完了し、高単価のコスメ商品系開発を目指す。

(2) 金武町 「戦略策定支援事業」支援事業 1,950千円

琉球紅茶Japanブランド形成支援プロジェクト

金武町で栽培される「琉球紅茶」のブランドコンセプト作りを進める。

金武町で栽培される「琉球紅茶」は、豊かな太陽光線と紅茶木の生育に適した土壌である赤土を併せ持ち、恵まれた自然環境下で、無農薬栽培される付加価値の高い素材です。「Japanブランド」を沖縄から県外・海外へ発信できる商材であると確信しています。

- ①委員会の開催（委員会委員及び専門家を招聘して効果的な事業運営について協議する）。
- ②ブランド戦略研修会（琉球協茶の啓蒙・啓発。また、Japanブランドとしての可能性及び構築のためのシンポジウム並びに勉強会の開催）。

(3) 西原町 「戦略策定支援事業」支援事業 5,000千円

「黒糖がんじゅーむら西原」ブランド開発支援プロジェクト

- ①県外に当地域の黒糖製品がどのように評価されるのか調査実施。

具体的には、まず、地域事業者のブランドに対する考え方を学ばせるため勉強会を開催。その後、本土市場の販路開拓に詳しい専門家を招き、本土市場の流通状況について研修会を開催する。

- ②4月から黒糖づくり研究、より完成度の高い特産品づくり研究実施
- ③8月から10月にかけて先進地視察研修の実施

優れた観光や販路となる施設を有し、地域振興に繋げている地域を国内外問わず視察研修を実施する。

- ④10月頃にありんくりん市等（県連主催）で市場調査実施。
- ⑤11月頃に講演会の実施

小泉武夫教授を招き、地域資源を活かした食文化の継承や特産品の開発、地域ブランドの確立の大切さを地元住民、事業者を集め講演会を開きコンセンサスを醸成する。

- ⑥引き続き観光産業への取り組み、特産品開発、販路拡大を一体的に取り組む組織づくりを検討する。